

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

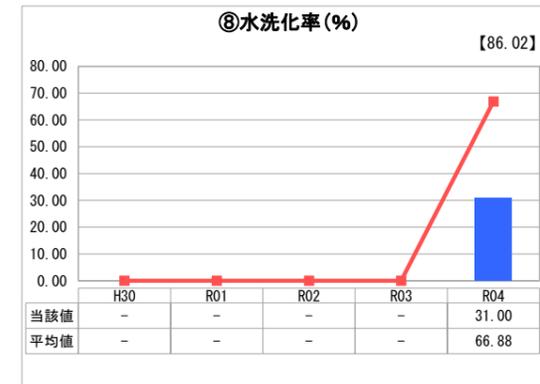
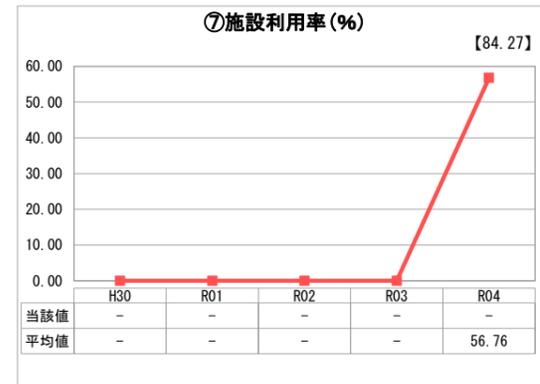
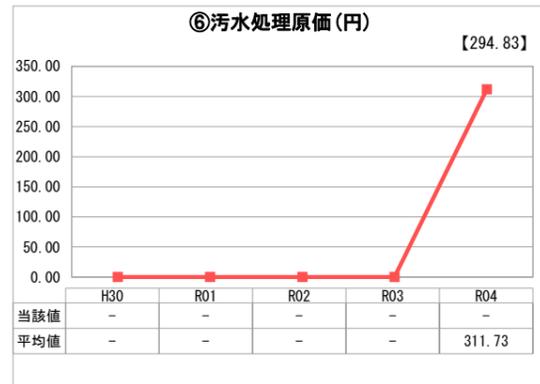
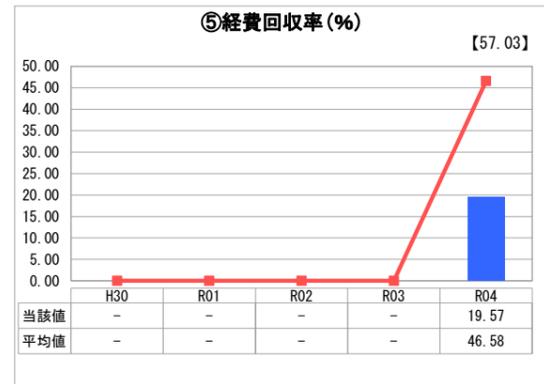
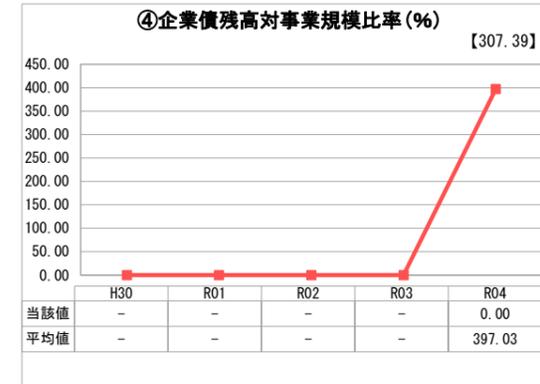
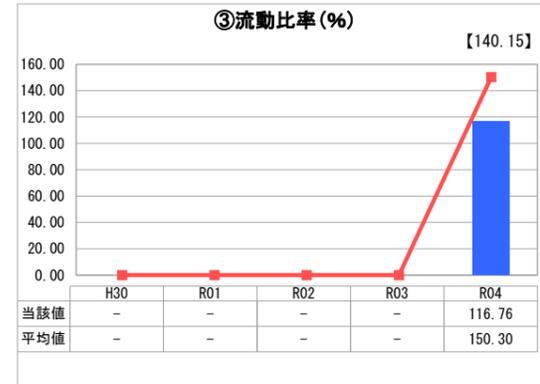
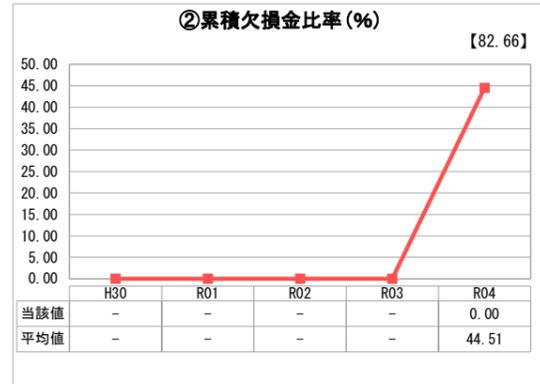
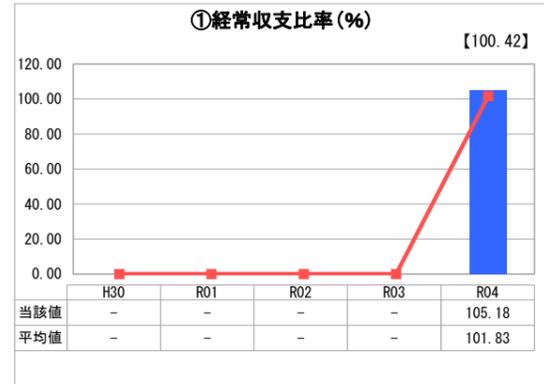
大阪府 和泉市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	46.18	0.62	-	3,300

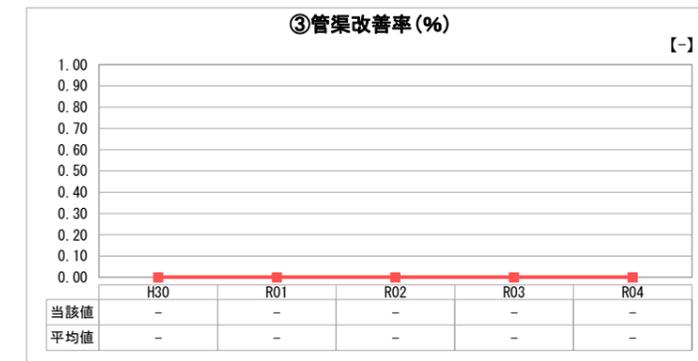
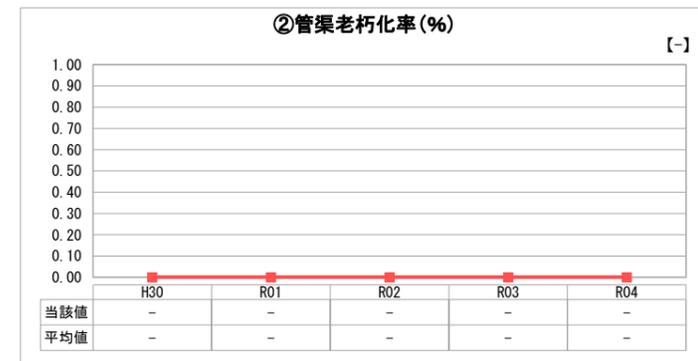
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
183,761	84.98	2,162.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,142	33.73	33.86

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、一般会計からの補助金等により収支の均衡を保っており、単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっています。  
 ② 本事業は一般会計からの補助金等により賄っており、累積欠損金は発生しておりません。  
 ③ 流動比率は、類似団体平均値(以下、平均値)より低いものの、1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上となっています。  
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、事業の性質上、一般会計からの補助金等により賄うことから、発生しておりません。  
 ⑤ 経費回収率は使用料で算出しており、一般会計からの補助金等が計上されていないため、100%を下回っている状況です。  
 ⑥ 汚水処理原価は、浄化槽の人槽により定額で浄化槽使用料を徴収しており実水量の把握が困難なことから計上していません。  
 ⑦ 施設利用率は、本事業は処理施設等が存在しないため、施設利用率は発生しません。  
 ⑧ 水洗化率は、切替処理に係る費用など経済的負担等の理由から平均値より低い値となっています。

### 2. 老朽化の状況について

本事業は、平成27年度から開始しており、現在、対策が必要な老朽化施設はありません。

## 全体総括

令和4年度から地方公営企業法の規定の全部を適用して公営企業会計に移行しましたので、企業会計方式による財務諸表を作成し、事業の経営成績や財務状態を考慮した事業展開を行いました。  
 今後は、職員配置の見直しによる人件費の削減、現在のPFI方式による浄化槽設置業務及び維持管理業務の見直しを行い、経営健全化に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。